

# 北海道・空知の政治課題に真っ向勝負 - 2年目も全力加速中!! -

# 稲村ひさお 道政だより



後期高齢者医療制度などの問題点を訴える街頭演説



発行  
稲村ひさお事務所  
〒073-0113  
砂川市晴見3条  
北10丁目9番4号  
TEL0125-54-3385  
FAX0125-54-3334

昨年四月に多くの皆様のご支援を賜り、道議会議員の議席をいただいてから一年が経ちました。これまで、地域医療や夕張をはじめとする自治体財政の問題、広域消防問題などについて、議会の場で質疑を行う機会を得ることができ、空知に住む皆様のパイプ役として努力しています。

一方、高橋知事には、この度の第二回定例議会で地域の意見を聞かずに支庁制度改革を押し通したように、道民の代表者という姿勢が見られません。

私は、今後も高橋由紀雄前道議の志をしっかりと受け継ぎ、皆様のご支援に対する感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきます。

北海道議会議員

稲村 久男

## ホームページ 好評開設中!

<http://www.i76rider.ecweb.jp/> ←登録してね

稲村ひさおの  
想いや活動が  
つまっています。

- プロフィール
- 写真集
- ブログ
- フォトギャラリー
- お問い合わせ



ブログも  
随時更新!

## 第1回 稲村ひさおを囲む夕べ

日時: 8月23日(土) 午後6時~  
場所: 砂川市地域交流センター ゆう  
砂川市東3条北2丁目3-3  
TEL (0125) 54-3111

会費: 1,000円

夏を涼みながら、皆様の想い、地域の課題をお聞かせください。多くの参加をお待ちしています。

お問合せ: 稲村ひさお事務所 TEL0125-54-3385

# 地域医療の確保 道議会予算特別委員会で質疑

私の活動キーワードは、「地域医療」、「旧産地」、「自治体財政」。予算特別委員会で、地域医療の確保についての道の姿勢を質しました。

道は今後、30区域で検討会議を立ち上げるとのこと。地域事情が異なることに加え、総務省の「公立病院改革ガイドライン」による影響を強く受ける空知は早急な取り組みが必要。道の見解は？

**答** この構想は中核的病院を中心に、医療機関が広域的に連携し、効率的・効果的な医療提供体制を目指すもの。地域での検討が円滑に進むよう、情報提供や適切な助言を行う。

構想には自治体病院が不採算部門を担っていると書かれているが、不採算部門とは？  
**答** へき地医療、周産期医療、小児医療、救急医療と考えている。

不採算部門に対して、どのような支援を考えているか？

**答** 不採算部門を担う自治体病院を地域全体で支えるため、自治体病院の有無に関わらず、区域内の市町村が、医師確保や自治体病院の費用負担について

て検討していただく必要がある。道としては、道内や他府県の事例を示して、地域での議論が円滑に進むように努める。

道が昨年実施した調査では、54病院で152名の医師が緊急に必要と聞いている。地域の医療機能維持、疲弊している医師を助けるためにも、医師確保の具体策は？

地域勤務を条件とする奨学金制度の創設、緊急臨時的な医師派遣の仕組みづくりなど積極的に取り組む。

中核病院に対して重点的に医師を配置する大胆な医師確保対策が必要と考えるが、見解は？

**答** 中核病院の医療機能の低下は、所在する地元だけでなく、圏域にも影響を及ぼすことから、医師の充足は極めて重要。今後とも地域医療への影響が生じないよう医師の確保・派遣など支援に努める。

道が平成20年度から地域ごとに設置する「保健医療福祉圏域連携推進会議」の役割とメンバーは？また、会議での意見をどう反映するか？

**答** 会議は、地域の保健・医療・福祉に係る協議・検討の場で、幅広い分野の委員で構成するほか、委員以外の出席も認める。会議での意見・提言は、道の施策への反映に努める。

# ひさおの活動アルバム



支持者と懇話



力こもる挨拶



野球大会でも挨拶



視察先でも積極的に意見交換



警察学校現地調査



マナーの1コマ北から南まで奔走



広島県に視察